



しののめYMCAこども園

園だより

2015年度9月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。」

ヨハネによる福音書15章12節

9月の聖句「あなたに平和、あなたの家に平和、あなたのものすべてに

平和がありますように。」

サムエル記上25章6節

今年の夏も各地で猛暑日が続きましたが、それぞれが楽しい時間を過ごし、元気な姿でこども園に戻ってきました。

幼児期に「五感を通じて感じたこと」は、大人になって記憶が薄れても、再び同じように五感を通じて、幼児期と同様の体験や経験をすると、心地好くその当時の記憶が蘇るものです。

五感とは、見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる、すなわち視覚・聴覚・臭覚・味覚・触覚です。

私は野山で草や木を燃やしている、煙のにおいが大好きです。なぜだろうと考えると、私は幼い頃、毎年夏になると田舎へ行っていました。当時私の田舎は、今では珍しい「下駄」を作っていました。

毎朝祖父は、下駄作りの作業で出た、木くずや鉋くずを庭で燃やしておりました。孫の私は、毎朝早起きをして、祖父とそれを燃やして焚火をすることが楽しかったのだと思います。それは何か祖父との特別な時間であったように思います。そしてそこでは木くずや鉋くずが燃えており、その煙と匂いが、祖父と私を包んでいたのだと思います。

大人になった今でも、車を走らせながらその様な光景を見ると、とても懐かしく窓を開けてしまうことが時折あります。たいした経験ではないのですが、私にとっては、その「煙」が祖父と一緒に過ごした時間を、思い出させてくれる貴重な煙で、まさに当時へタイムスリップし、楽しい時間を思い出させてくれる私にとっては「宝物」なのだと思います。

この夏、園児達にとって「宝物」が見つかったことを信じ、そして楽しみにしたいと思います。何気ない時間ですが、五感を通じての体験や経験は、心と体にしっかりと染み込んでいきます。そしてそれは成長の糧として活かされていくのもだと思います。大好きな家族と過ごす時間、これからも大切にしたいものです。

学事行事やイベントが多い学期ですが、どうぞよろしくお願いいたします。